## まえてつ通信 3rd NO. 039 2022(R4).10.12(火)

## ◎まさに正念場

定例県議会が終わりました。開会初日に上程された補正予算233億44百万円、追加補正4億52 百万円 (飲食業支援のための認証店へのクーポン券発行)、同 38 百万 (来年開催 G 7 関連経費) が 可決され、また議員提出による**「石木ダム建設推進に関する決議案」**及び議会発議による**「長崎県 ケアラー支援条例案」(九州全県で初)**も可決されました。

長崎新聞では以下のような論評が記事となっていました。前段の「議員と県の質疑・答弁からは 切迫感は伝わってこない」は私も少なからず同感するところがあります。

議員が攻めていないわけではないものの、「深い議論に持ち込んでいない」印象です。知事に対し 控えめな質疑になっているのだと思います。

アメリカでは政権が交代後は 100 日間のハネムーン期間と言われますが、大石知事も就任後のハ ネムーン期間を終えて既に 100 日。就任挨拶で「可能なものから迅速に前に進めていく」と語った 知事に対し、12月議会では1年に1回の質疑を行いますので「是々非々・真剣勝負」で臨みたいと 思っています。ご期待ください。

※近い動きでは新幹線議連が中心となり長崎県議会として「西九州新幹線のフル規格での建設」を 佐賀県議会に対して申し入れを行います。これまで佐賀県に配慮し佐賀県議会に対しては働き かけを控えておりましたが、先月 23 日の開通で風向きがいい方向に変わってきたなかでのタイ ミングで実施します。再来週の 18 日からは決算審査が始まります。

紙面編集•松本博文 (第3種郵便物認可) 長 亲介 眉

## 地域経済浮揚が不可欠

例だが、今後さらなる施策 の医療費助成拡大」が代表 り」として産業の生産性向 問でも指摘されたように ても、やはり食いぶちがな 育て環境をいくら充実させ チャレンジできる環境づく テーマを示し、「みんなが う。他にも四つの重点検討 メニューの充実が必要だろ は知事選で掲げた「子ども か県民に伝わっていない を掲げている。だが一般質 済の浮揚が不可欠だ。 **恤は12位と高い。**さらに九 製造業支援などで県民所得 上などにも力を入れる。子 に検討している子ども施策 言えるが、暮らしやすさの した。県政のビジョンが漠 (個人所得や企業利潤など (松本洋介議員)。 具体的 「何に重点的に取り組むの 中村法道前知事時代には 前提には低迷する地域経 「新しい長崎県づくり」 定効果を挙げた。

切に対応する」よう促した 話による解決を期待しつ 現で県に対応を迫った。 を求めているとも取れる表 制撤去する「行政代執行」 対話よりも、家屋などを強 れないほど大きい」と懸念。 の遅れによる損害は計り知 予は残されておらず、判断 性があるとして「時間的猶 者の住民が買い戻す権利 後にダム建設用地を元所有 る。市議会の意見書は1年 を通じた解決を探ってい る住民と4回面会し、対話 趣旨は異なる。 意見書を可決したが、その 下旬には同市議会が同様の める決議を可決した。先月 ついて、県に早期完成を求 画する石木ダム建設事業に 佐世保市が東彼川棚町で計 きがもう一つあった。県と 切迫感は伝わってこない。 かねて指摘されているが、 最も高い。こうした状況は るイメージだ。九州・沖縄 町の人口がすっぽり消失す 050年に83万6千人にま 山口9県の中で減少率は (買受権)が発生する可能 今定例会で注目すべき動 大石知事は事業に抗議す 一方、県議会の決議は対

## 石木ダム 佐世保市と密に協議を

住居移転後の生活再建など し、市は必要性は司法判断説明しようとする県に対 中村県政時代からあった。 何のメリットにもならな 買受権の話を持ち出しても としているさなか、市長が 浮き彫りになったとも言え こに来て両者の溝が改めて に限るよう訴えてきた。こ で決着済みとして、対話は 住民に理解してもらえるま 動を来春の市長選に絡め が対話で信頼関係を築こう るが、県議会からは「知事 をして事に当たってほし める姿勢を示すことはマイ ないにせよ、早期完成を求 も漏れる。さらに市長の言 い」(自民議員)との不満 い」と注文が付いた。住民 は県に対し「市と密に協議 ナスにはならない」との見 -5選へ出馬するにせよし 今定例会の常任委員会で 、市の足並みの乱れは

ち出すのか」との疑念がく ない」との立場だったため、 でも県、市で内々に協議し の遅れは住民による工事妨 にクローズアップされた。 長が「ここ1年が正念場」 であった集会で朝長則男市 てきたが、先月中旬に市内 だが県側は従前から「事業 などと公に言及し、にわか 「なぜ今のタイミングで持 買受権を巡ってはこれま

を発表し、改めて子育て支

県議会を振 ŋ 返っ

た本県の将来推計人口はつ